

## 第12回 (9/24号)

# 水稻病虫害発生予察の結果について

本年度の予察は、今回で終了となります。ご協力ありがとうございました。

### ① 生育状況

生育状況は平年より少し早く推移しています。生育は、どの地区も固熟期～黄熟期に入っていました。長岡地区や大仁地区の早い圃場では1～2週間程度で収穫適期となる圃場も見られました。穂の85%～90%が黄金色に成熟していれば収穫適期です。自身で刈り取りを行う方は、刈り遅れにならないように気を付けましょう。

### ② 病虫害状況

どの圃場でもウンカ類やヨコバイ類の害虫を含む病虫害の発生はほとんど確認出来ませんでした。現状では、管内において「秋ウンカ」による坪枯れ症状の被害無く、無事に収穫を迎えられる見込みです。

一部圃場では、紋枯れ病や稲こうじ病が散見されました。どちらも幼穂形成期に防除を行う病気ですので、現状での対策はほとんどありません。収穫時に確認された方は、次作の対策をご検討下さい。

※これからの薬剤散布は、今までも注意して頂いています使用方法に加え、周辺の収穫期や飼養生物（交配用ハチなど）の状況を確認してから処理するようご配慮下さい。

### ③ その他

今回の調査で稲が一部倒伏している圃場がみられました。倒伏によって成熟した籾が水に浸かり続けた場合、籾が発芽する恐れがあります。倒伏の程度がひどい場合には、株を起こし日当たりを良くし、乾燥させる方法も検討してください。

問い合わせ：韮山営農経済センター 西島 055-949-0055

※JAふじ伊豆ホームページでも確認頂けます。

※FM伊豆の国でも朝・昼放送を行っております。